

TITLE: HR 3 0 シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 1 OF 21

HR30 Series

Guideline for Designing and Handling



TITLE: HR30シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 2 OF 21

Number	Page
1.ガイドラインの目的	3
2.安全上の注意点	3
3.コネクタご使用時に注意いただきたい事項	5
3.1 コネクタ挿入、抜去の方法	5
3.2 その他のご使用時の注意事項	6
4.製品番号の構成および外観寸法	8
4.1 製品番号の構成	8
4.2 外観寸法	9
5.コネクタ選定の際の情報	13
5.1 特長	13
5.2 コネクタ組み合わせ図	15
5.3 コネクタのタイプ別バリエーション表	15
5.4 ケーブル仕様一覧表	16
5.5 キャップの取付け状態	17
6.機器設計の際に必要な情報	19
6.1 推奨基板寸法図	19
6.2 端子配列	20
6.3 パネル取付け孔寸法図	20
改定履歴	21

TITLE: HR30シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 3 OF 21

1. ガイドラインの目的

ヒロセ電機(株)製HR30シリーズコネクタをご使用される場合、機器設計および作業等に関する注意点を以下のガイドラインに記載しましたのでご覧ください。

なお、掲載している写真およびイラストは、弊社代表製品のものでありますので製品によって相違致します。

また、ガイドライン情報は予告無しに変更する事がございます。

2. 安全上の注意点

HR30シリーズをご使用前に本ガイドラインの注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。

このHR30シリーズ注意事項では安全注意事項のランクを「警告」/「注意」として区分してあります。

■ 禁止事項、注意事項の意味

 警告	誤った取り扱いをすると、 人が死亡また重傷を負う危険が想定される為、行ってはいけない内容 を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、 物的損害の発生が想定される内容 を示します。

警告

- ・ 感電や破損の恐れがありますので、必ず電源を切ってからコネクタの抜き差しを行なってください。
- ・ 端子には触れないでください。感電の恐れがあります。
- ・ 定格を超えた電圧・電流ではご使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意

- ・ 当社の製品の製品規格を超えた振動や衝撃が加わる状況でご使用しないでください。
- ・ 本製品は、防水コネクタですが、かん合状態の防水構造です。決して未かん合状態で放置はしないでください。
放置すると水がコネクタ内部に侵入してショートする恐れがあります。
未かん合で放置する場合は、キャップをご使用してください。
- ・ かん合時にプラグに負荷が掛かる状態では、ご使用しないでください。
防水性能が維持できない可能性があります。
特に30N以上の負荷が加わるとコネクタが破損する恐れがあります。
- ・ 結線は、はんだタイプと圧着タイプとDIPタイプの3種類です。
結線の作業手順は、表－1の各手順書をご確認ください。
なお、DIPタイプは、フロー槽には対応していません。はんだごてでの結線をお願いします。

TITLE: HR30シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 4 OF 21

表 - 1		
手順書名	図番 (和文)	図番 (英文)
HR30レセプタクル用ハーネス作業 手順書	ATAD-C0302-00	ETAD-C0302-00
HR30ジャックハーネス手順書	ATAD-C0476-00	ETAD-C0476-00
HR30プラグ用ハーネス作業手順書	ATAD-C0509-00	ETAD-C0509-00
HR30-*C-*** 圧着品質基準書	ATAD-C0365-00	ETAD-C0365-00
HR30一体成形品ハーネス手順書	ATAD-C0198-00	ETAD-C0198-00
HR30-TP(端子引抜工具) 取り扱い説明書	ATAD-C0282-00	—
HR30ロックタイト塗布方法	ATAD-C0151-00	ETAD-C0151-00

- ・ 当社製品をプラスチックの物性劣化や金属の錆の原因となるような腐食物質を含む条件下で保管およびご使用しないでください。
- ・ 絶縁強化や保護などのために止むを得ず当社の製品に溶剤を塗布する場合は、プラスチックの物性劣化がないことを確認のうえご使用ください。
- ・ 当社の製品は標高2000m以下の場所で、当社の製品の「使用温度範囲」「使用湿度範囲」「保存温度範囲」内にかつ、氷結または結露しないような環境下で保管およびご使用してください。
- ・ 防水性およびケーブルクランプ力、ケーブル回転固定力を保つ為、使用ケーブルは適合ケーブル径の範囲内でご使用してください。
但しケーブルの構造によっても性能が変わりますので、事前に確認のうえご使用してください。
特にケーブル内部が充実してなく隙間があるものは、防水不良およびケーブルクランプ力が低下しますのでご注意ください。

※当社の製品の製品規格については、ホームページより確認をお願いします。
当社のホームページアドレス : <https://www.hirose.com/jp/>

TITLE: HR 3 0 シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 5 OF 21

3.コネクタご使用時に注意いただきたい事項

3.1 コネクタ挿入、抜去の方法

コネクタ挿入、抜去の方法を下図に示します。



- 注 1. 確実にかん合したことを確認後、ご使用してください。半かん合状態では、決してご使用しないでください。半かん合状態でご使用すると防水不良、ロック部の変形およびご使用中にプラグが抜けて導通しなくなる等の問題が発生します。
- 注 2. コネクタを真っ直ぐに押し込まないとコネクタが破損する恐れがあるのでご注意ください。
- 注 3. 本製品は、プッシュプルロックです。プラグのカップリングは、回転させないでください。回転させるとコネクタが破損する恐れがあります。

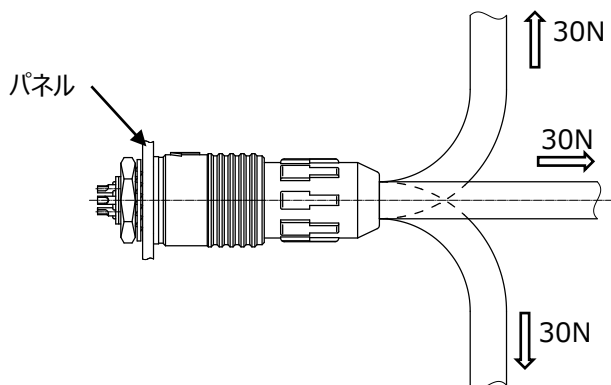
1.挿入時	2.抜去時
嵌合位置合わせマーク（白色）	
挿入する際には、プラグのかん合位置合わせマークとレセプタクルのかん合位置を合わせマークを合わせ真っ直ぐに押し込みますとスムーズにかん合します。	かん合された状態からプラグを取り外す際は、プラグのカップリングを持ち、真っ直ぐに引き抜きますと容易に取り外すことが出来ます。

TITLE: HR30シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 6 OF 21

3.2 その他のご使用時の注意事項



- (1) コネクタを抜き差しする時は、必ず回路の電源を切ってから行ってください。
- (2) コネクタを挿入後、コネクタのかん合確認動作としてケーブルを軽く引っ張り、コネクタが離脱しないことをご確認ください。
- (3) コネクタかん合後は、矢印に示した方向に 30N 以上の荷重をケーブルに加えないでください。
過度な引張荷重が加わるとコネクタ破損の原因となります。



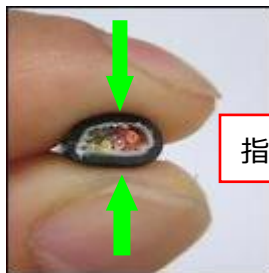
- (4) コネクタの組み立ておよび機器への取り付けは、規定の締付けトルクで行ってください。トルクが低い、または強い場合は、緩み、破損の原因になりますのでご注意ください。
- (5) 電気用品安全法が適用される機器にご使用する場合は、別途ご相談ください。
- (6) 白色表示は、アルコールなどの溶剤により剥がれることがありますのでご注意ください。



- (7) 屋外でご使用の場合、コネクタに粉塵が付着する場合があります。挿抜の際には粉塵が内部に入り込まないように十分ご注意ください。粉塵がコネクタ内部に入り込むとかん合不具合が発生する場合があります。

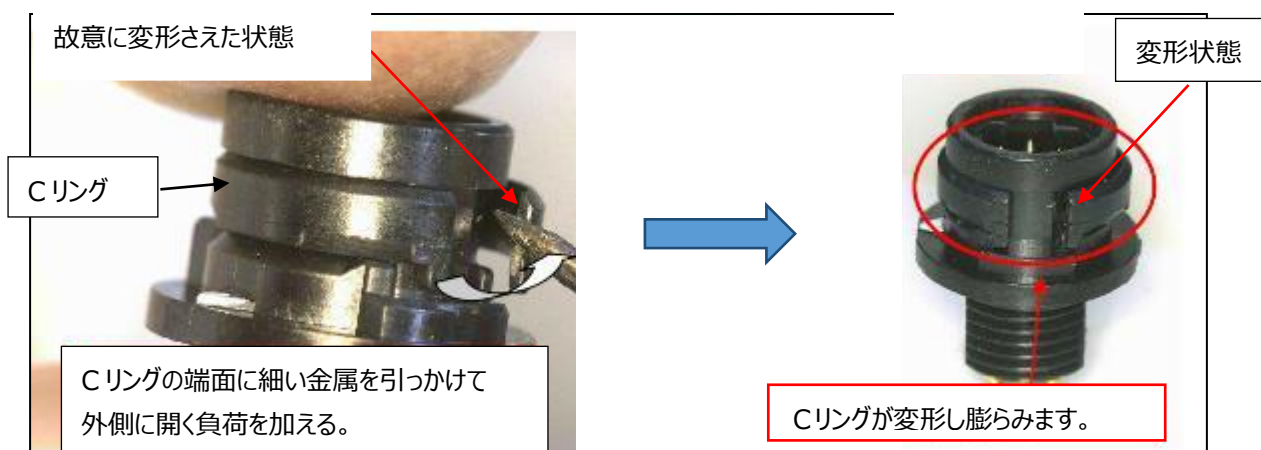
TITLE: HR30シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 7 OF 21

- (8) I Oケーブル等で内部が中空になっているようなものは、防水用としては向きません。ケーブルがつぶれて防水不良となる恐れがあります。防水が必要な場合には下記のようなケーブルはご使用しないでください。

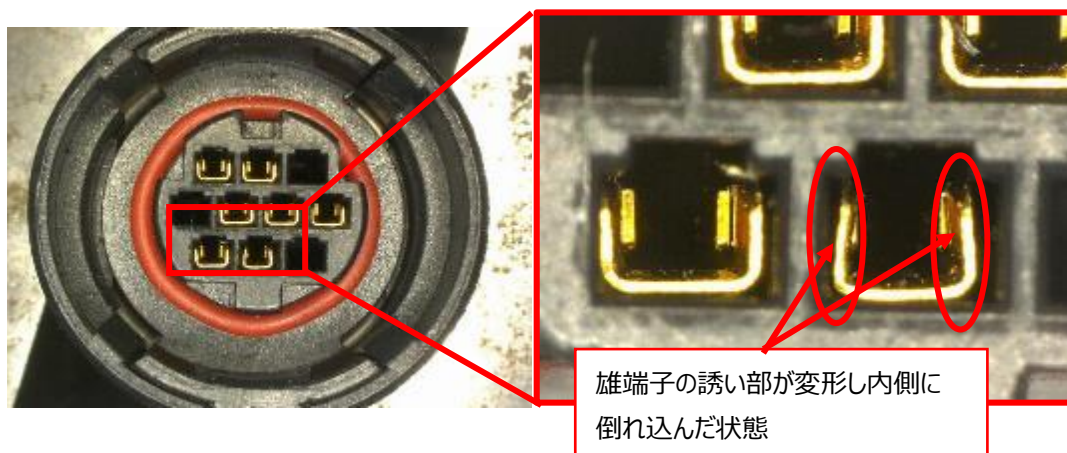


指で押すと容易に変形してしまう

- (9) 組立工程などで、Cリングをひっかけて変形させないようにご注意ください。かん合もしくはロックが出来なくなります。



- (10) プローブピン等を不用意に開口部に入れないでください。端子が変形してかん合できなくなる恐れがあります。



TITLE: HR30シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 8 OF 21

4.製品番号の構成および外観寸法

4.1 製品番号の構成

製品番号から製品仕様をご判断頂く際に利用してください。

HR30 - 6 P A - 6 S C (※※)
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

①シリーズ名 : HR30 シリーズ	⑤極数 : 3,6,10,12 極
②シェルサイズ : プラグのかん合部の外径	⑥端子の種別 : S・・・雌端子 P・・・雄端子
③コネクタの種別 : P・・・プラグ R・・・レセプタクル J・・・ジャック	⑦端子の結線方式 : なし・・・はんだ結線方式 C・・・圧着結線方式 D・・・基板ディップ方式
④コネクタの同一種別内での区分 : なし・・・標準 A・・・細線 B,D・・・一体成形タイプ	⑧その他の仕様 : ①～⑦以外で仕様変更になる 場合、2桁の数字を付記します。

TITLE: HR 3 0 シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 9 OF 21

4.2 外観寸法

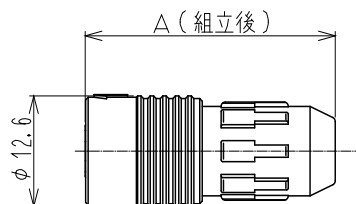
製品の極数別、タイプ別の外観寸法を下記に示します。

なお、製品名は、末尾のその他の仕様を省略して表示しています。

<3、6極>

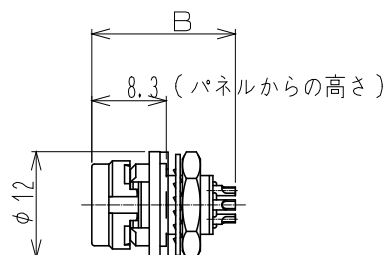
プラグ

結線タイプ	製品名	A
はんだタイプ	HR30-6P(A)-6S	29.8
	HR30-6P(A)-3S	
	HR30-6P(A)-6P	30.3

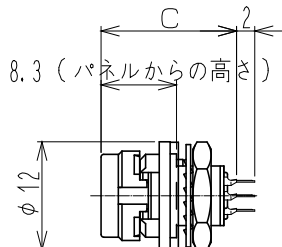


レセプタクル

結線タイプ	製品名	B
はんだタイプ	HR30-6R-3P	16
	HR30-6R-6P	
	HR30-6R-6S	18.4

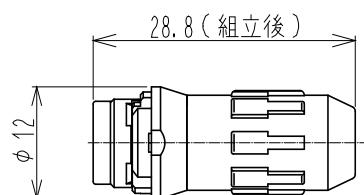


結線タイプ	製品名	C
DIP タイプ	HR30-6R-6PD	14.9
	HR30-6R-6SD	15.2



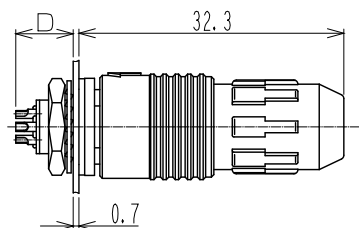
ジャック

結線タイプ	製品名
はんだタイプ	HR30-6J(A)-6P



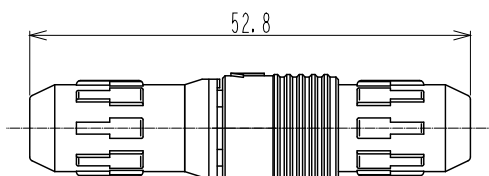
かん合状態

結線タイプ	製品名(プラグ+レセプタクル)	D
はんだタイプ	HR30-6P(A)-3S+HR30-6R-3P	7
	HR30-6P(A)-6S+HR30-6R-6P	
	HR30-6P-6P+HR30-6R-6S	9.4



備考. D 寸法は、パネル厚が 0.7 の時の値になります。

結線タイプ	製品名(プラグ+ジャック)
はんだタイプ	HR30-6P(A)-6S+HR30-6J(A)-6P

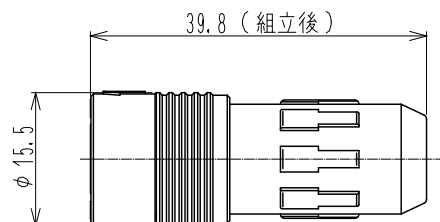


TITLE: HR 3 0 シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 10 OF 21

< 1 0、1 2 極 >

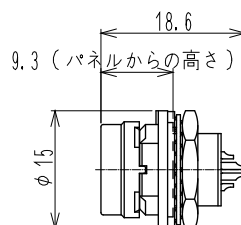
プラグ

結線タイプ	製品名
はんだタイプ	HR30-7P-12S
	HR30-8P-12P
圧着タイプ	HR30-7P-10SC
	HR30-7P-12SC
	HR30-8P-12PC

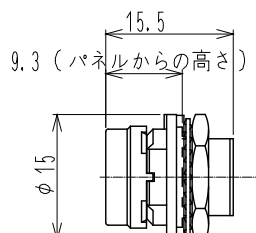


レセプタクル

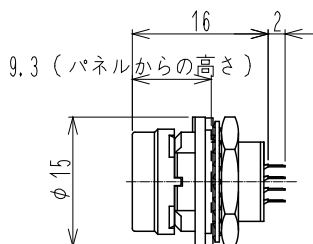
結線タイプ	製品名
はんだタイプ	HR30-7R-12P
	HR30-8R-12S



結線タイプ	製品名
圧着タイプ	HR30-7R-10PC
	HR30-7R-12PC
	HR30-8R-12SC

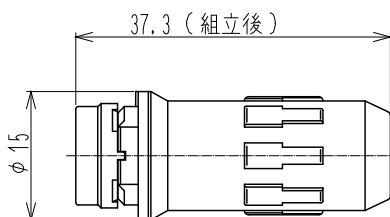


結線タイプ	製品名
DIP タイプ	HR30-7R-12PD
	HR30-8R-12SD



ジャック

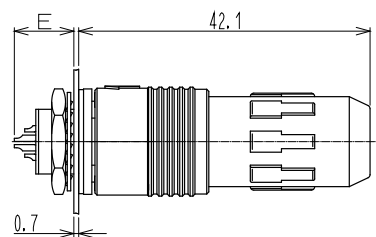
結線タイプ	製品名
はんだタイプ	HR30-7J-12P
	HR30-8J-12S
圧着タイプ	HR30-7J-10PC
	HR30-7J-12PC
	HR30-8J-12SC



TITLE: HR 3 0 シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 11 OF 21

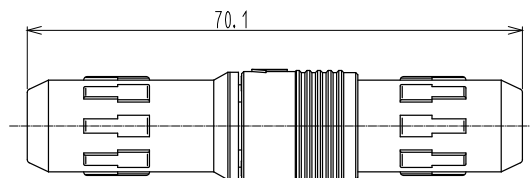
かん合状態

結線タイプ	製品名(プラグ+レセプタクル)	E
はんだタイプ	HR30-7P-12S+HR30-7R-12P	8.6
	HR30-8P-12P+HR30-8R-12S	
圧着タイプ	HR30-7P-10SC+HR30-7R-10PC	5.5
	HR30-7P-12SC+HR30-7R-12PC	
	HR30-8P-12PC+HR30-8R-12SC	



備考. E 寸法は、パネル厚が 0.7 の時の値になります。

結線タイプ	製品名(プラグ+ジャック)
はんだタイプ	HR30-7P-12S+HR30-7J-12P
	HR30-8P-12P+HR30-8J-12S
圧着タイプ	HR30-7P-10SC+HR30-7J-10PC
	HR30-7P-12SC+HR30-7J-12PC
	HR30-8P-12PC+HR30-8J-12SC

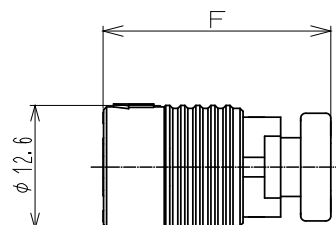


オーバーモールド用

<3、6極>

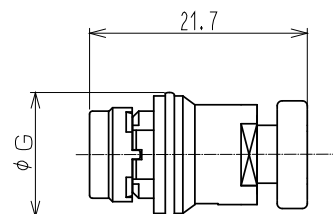
プラグ

結線タイプ	製品名	F
はんだタイプ	HR30-6PB-3S	22.7
	HR30-6PB-6S	
	HR30-6PD-6P	23.2



ジャック

結線タイプ	製品名	F
はんだタイプ	HR30-6JB-3S	21.7
	HR30-6JB-6S	
	HR30-6JB-6P	23.7

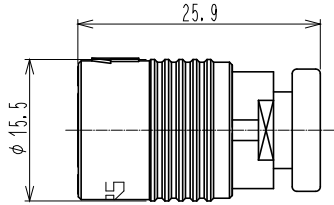


TITLE: HR30シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 12 OF 21

<10、12極>

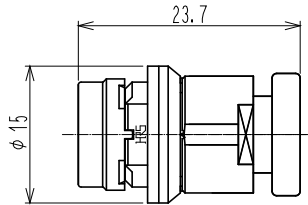
プラグ

結線タイプ	製品名
はんだタイプ	HR30-7PB-12S
	HR30-8PB-12P
圧着タイプ	HR30-7PB-10SC
	HR30-7PB-12SC
	HR30-8PB-12PC



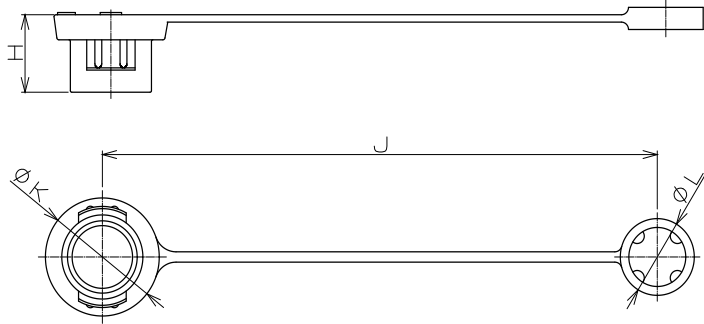
ジャック

結線タイプ	製品名
はんだタイプ	HR30-7JB-12S
	HR30-8JB-12P
圧着タイプ	HR30-7JB-10SC
	HR30-7JB-12SC
	HR30-8JB-12PC

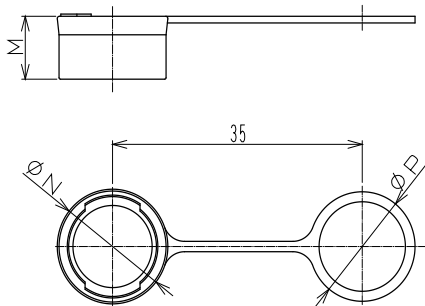


<キャップ>

	製品名	H	J	K	L
プラグ用キャップ	HR30-6P-C	8.9	6.5	13	8.4
	HR30-7P-C	10.5	78	16	10.4
	HR30-8P-C				



	製品名	M	N	P
レセプタクル 用キャップ	HR30-6R-C	7.5	12.6	11.8
	HR30-7R-C	8.5	15.5	14.8



TITLE: HR30シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 13 OF 21

5. コネクタ選定の際の情報

5.1 特長

(1) プッシュプルロック採用

弊社独自のロック方式により、防水コネクタでありながら操作性に優れております。

(2) 防水構造

本製品はかん合状態で、IPX7、IPX8 の防水性能です。

IPX7 : 水深 1mに 30 分間放置(IEC 60529)

IPX8 : 水深 2mに 14 日間放置(IEC 60529 但し、試験方法は、弊社で設定しました。)

備考. 本防水性能は、コネクタ同士のかん合時の内容です。

なお、キャップとの組み合わせにも対応しています。

(3) 屋外ご使用可能

下記試験を実施後にコネクタ強度試験を実施しましたが、外観には、試験による樹脂の削れ等の変化が
ありましたが、コネクタ強度には差がありませんでした。

なお、試験の詳細は、HR30 耐候性仕様破壊強度試験成績書 (No.TR130B-20197) をご確認ください。

耐候性試験規格 : JIS D 0205 WAN-1S

試験条件

ブラックパネル温度	63℃±3℃
水の噴射条件	60 分/1 サイクルの照射中に 12 分の水噴射
試料面放射照度	255±10W/m ² ±10%
相対湿度	50 % ± 5 %
放置時間	2000 h

備考 1.本試験は、プラグ、レセプタクルおよびプラグ、ジャックの組合せでご使用された場合の内容です。

備考 2.キャップ使用時は、対象外になります。

TITLE: HR 30 シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 14 OF 21

(4) CAT5e の伝送特性試験をクリア

CAT5e (1Gbps) 高速イーサネットに対応可能です。

試験時のピンアサインおよび結果は、下図によります。

□内の数字は、端子番号を示します。

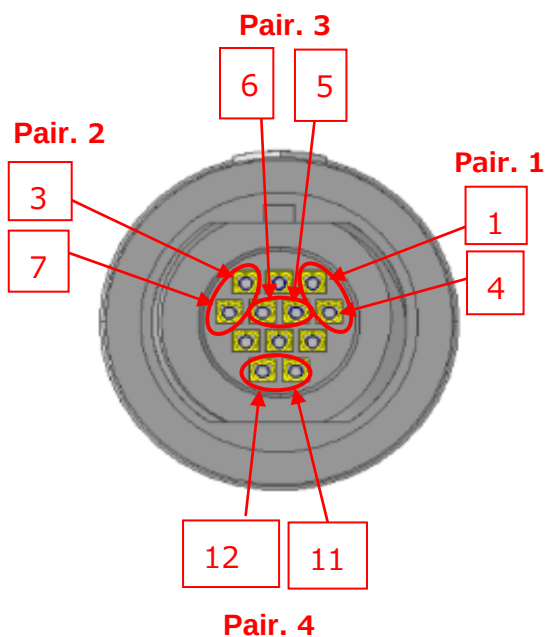
それ以外は、未結線です。

備考 1. 規格 : ISO TR 11801-9902 Class D 3- Conn E3(End-to-End)。

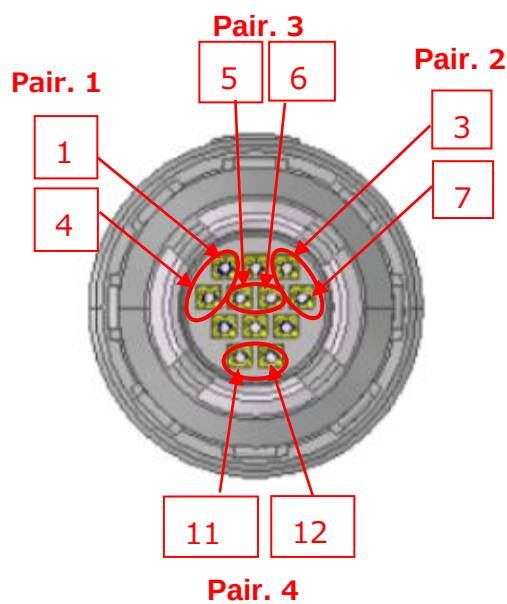
注 1. ピンアサイン、ケーブル仕様、およびハーネスの状態などにより特性が左右されます。

事前にご確認のうえご使用ください。

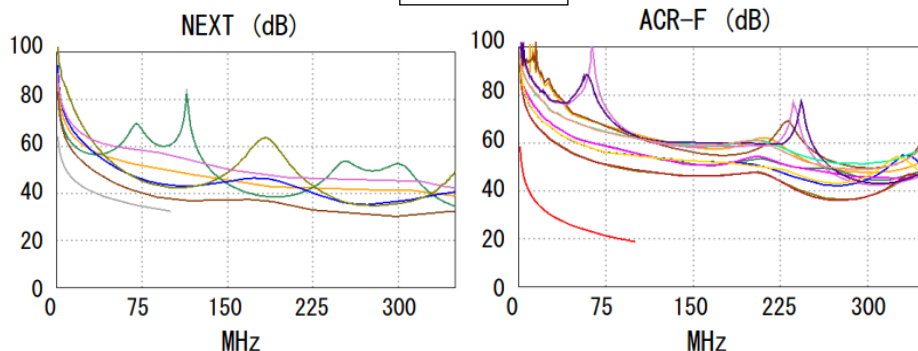
レセプタクル、ジャック側 (雄端子)



プラグ側 (雌端子)



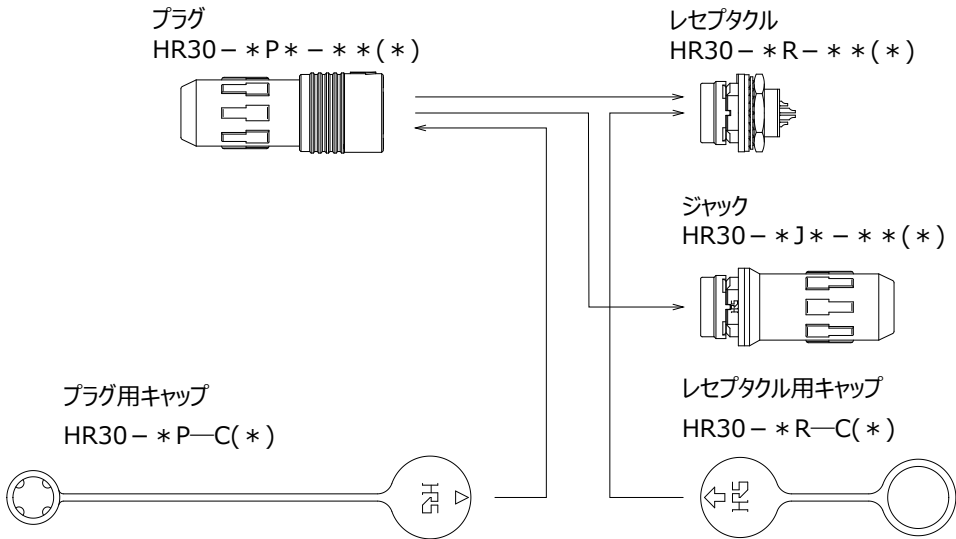
測定結果



TITLE: HR 3 0 シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 15 OF 21

5.2 コネクタ組み合わせ図

コネクタタイプ別の組み合わせ図を下記に示します。
コネクタ選定の際に参考にしてください。
なお、*印の位置には、P8 4.1 製品番号の構成に対応した英数字が入ります。



注 1.コネクタは、シェルサイズおよび極数を同じ数値に合わせてご使用ください。異なる数字同士でかん合させるとコネクタの破損もしくは不導通になります。
また、プラグが雄端子の製品の場合は、レセプタクルおよびジャックは雌端子の製品をご使用ください。
注 2.圧着タイプのコネクタには、適合圧着端子を組み込んでご使用ください。（表-1 の手順書をご確認ください。）

5.3 コネクタのタイプ別バリエーション表

コネクタのタイプ別のバリエーションを下表に示します。

極数	端子	プラグ				ジャック				レセプタクル		
		組み立てタイプ		オーバーモールド		組み立てタイプ		オーバーモールド		はんだ	基板	圧着
		はんだ 結線	圧着 結線	はんだ 結線	圧着 結線	はんだ 結線	圧着 結線	はんだ 結線	圧着 結線	結線	DIP	結線
3極	オス	-	-	-	-	-	-	✓	-	✓	-	-
	メス	✓	-	✓	-	-	-	-	-	-	-	-
6極	オス	✓	-	✓	-	✓	-	✓	-	✓	✓	-
	メス	✓	-	✓	-	-	-	✓	-	✓	✓	-
10極	オス	-	-	-	-	-	✓	-	✓	-	-	✓
	メス	-	✓	-	✓	-	-	-	-	-	-	-
12極	オス	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	メス	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

TITLE: HR 3 0 シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 16 OF 21

5.4 ケーブル仕様一覧表

一例としてケーブル仕様を下表に示します。



注1.防水性およびケーブルクランプ力、ケーブル回転固定力を保つ為、ご使用ケーブルは適合ケーブル径の範囲内でご使用ください。

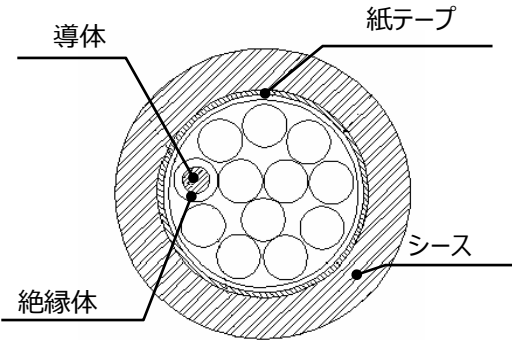
但しケーブルの構造によっても性能が変わりますので、事前に確認のうえご使用ください。

適合ケーブル外径： 3 極、6 極：ø3.5～4.3mm（細線タイプ）、ø4.2～5.0mm（標準タイプ）

10 極、12 極：ø6.2～7.0mm（標準タイプ）

注 2.ケーブルの使用温度範囲は、コネクタの使用温度以上のもを選択してください。

下回ると防水性能およびケーブルクランプ力が低下する恐れがあります。

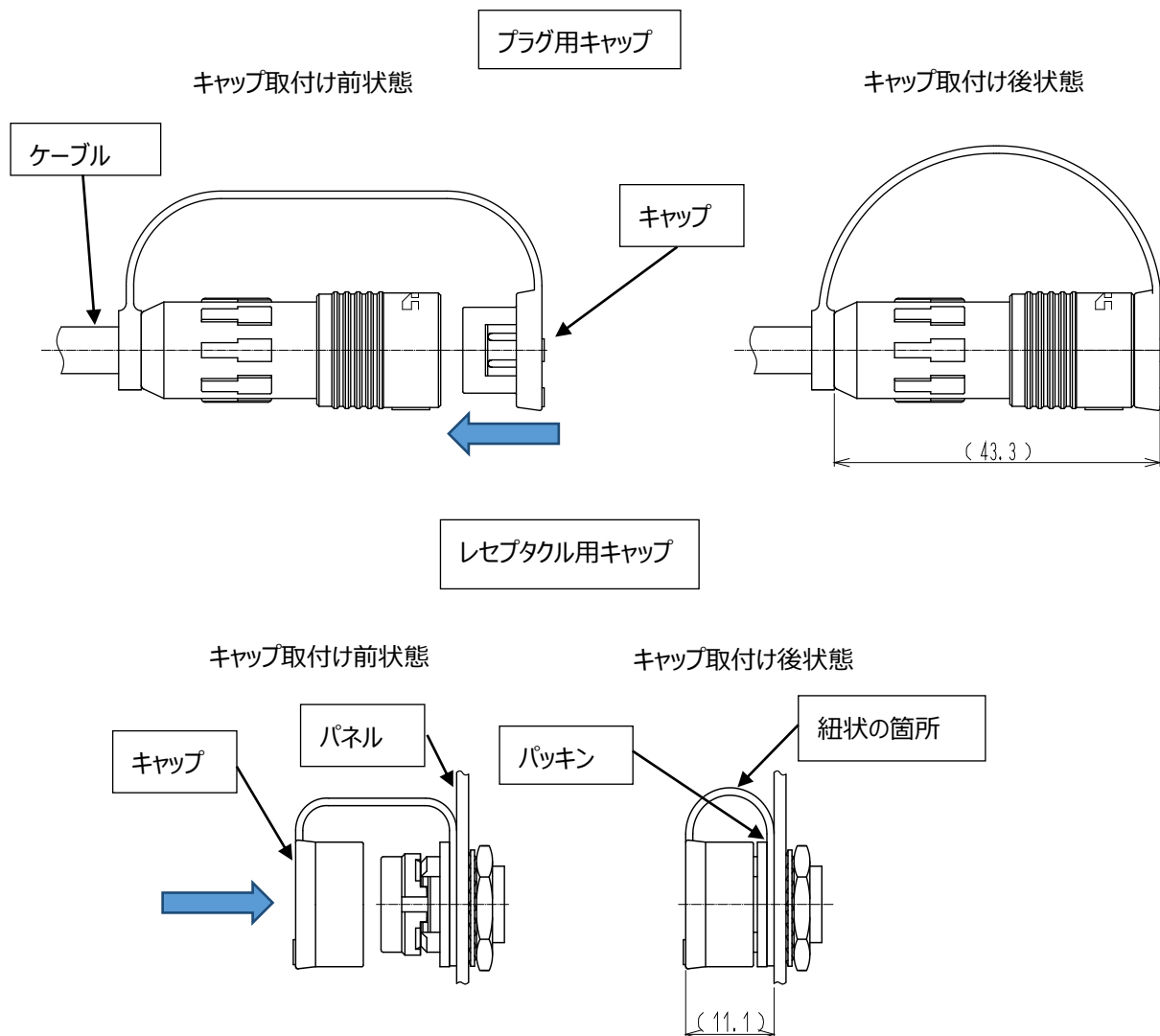


極数			3		6		10	12
ケーブル仕様	芯線	材質	スズめつき軟銅より線					
		電線サイズ	AWG22	AWG20	AWG26			
		芯線構成	17/0.16mm	26/0.16mm	7/0.16mm			
		外径 (mm)	0.76	0.94	0.48			
	絶縁体	材質	耐熱性 PVC					
		標準厚さ (mm)	0.22	0.25	0.2	0.23		
		外径 (mm)	1.2	1.44	0.88	0.95		
	ケーブル布線	外径 (mm)	2.6	3.1	2.6	2.9	3.8	
		紙テープ厚さ (mm)	0.05					
	シース	材質	耐熱性 PVC					
		標準厚さ (mm)	0.4	0.5	0.4	0.6	1.1	
		外径 (mm)	3.9 ±0.15	4.6 ±0.2	3.9 ±0.15	4.6 ±0.2	6.6 ±0.2	
		色	黒色					
電気特性	導体抵抗 (20℃) (Ω/km Max.)		55.8	35.1	143			
	絶縁抵抗 (20℃) (MΩkm Min.)		5					
	絶縁耐力 (V/min)		500					

TITLE: HR 3 0 シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 17 OF 21

5.5 キャップの取付け状態

キャップの取付け状態図



注1. レセプタクル用キャップは、キャップの紐状の箇所が常に撓んだ状態でご使用ください。

紐状の箇所が引っ張られるとパッキンがコネクタから外れる恐れがあります。

パッキンが外れると元に戻すことが困難です。

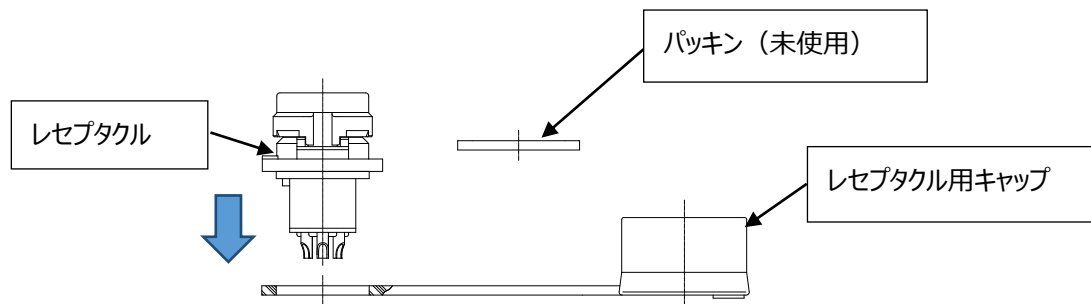
パッキンが外れた状態で使用すると水が侵入するため防止性能を満足しません。

注2. レセプタクル用キャップをご使用になる場合は、レセプタクルに添付されているパッキンをご使用にならないでください。

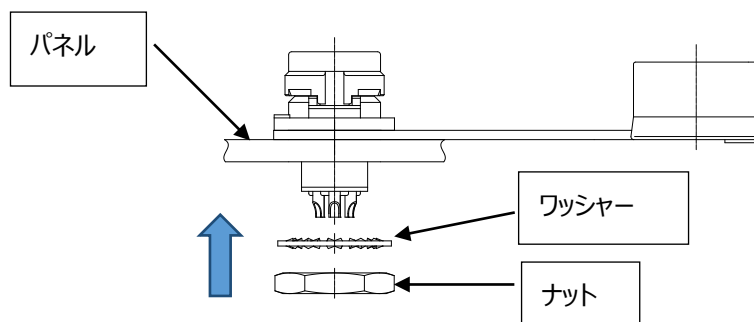
取付け方法は、P18 の図を参照してください。

TITLE: HR 3 0 シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 18 OF 21

- ①レセプタクルは、添付のパッキンをご使用せず、代わりにレセプタクル用キャップに取り付けます。
この時キャップは、開口部を上にしてください。



- ②その後、レセプタクルは、パネルに通し、ワッシャー、ナットを組込みます。

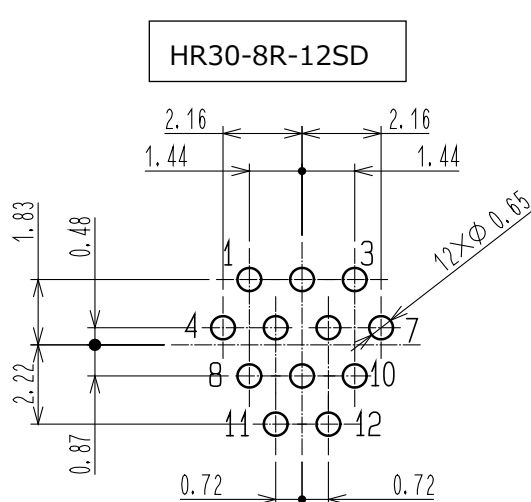
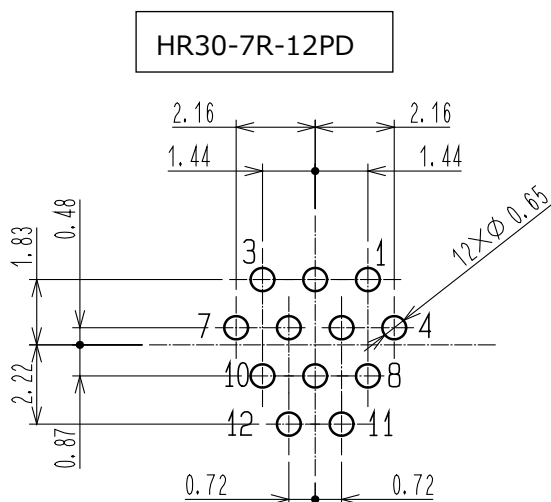
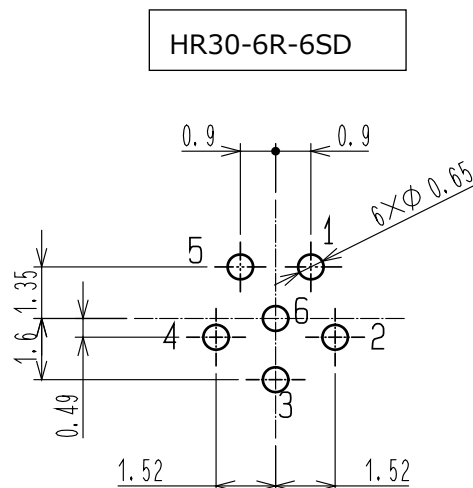
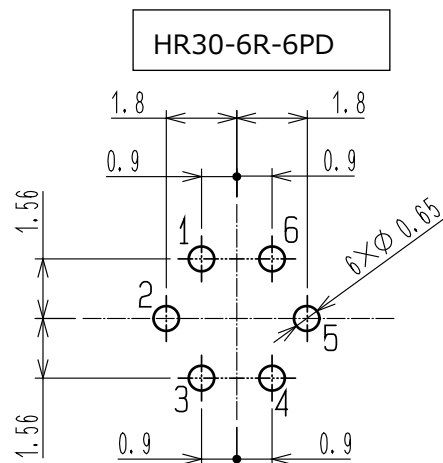


TITLE: HR30シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 19 OF 21

6. 機器設計の際に必要な情報

6.1 推奨基板寸法図

製品名は、末尾のその他の仕様を省略して表示しています。



備考1. 図は、レセプタクルのかん合面側から見た場合を表します。

備考2. 推奨基板最大厚さは、1.2mmです。

備考3. 基板の配列寸法加工公差は、 $\pm 0.03\text{mm}$ を推奨します。

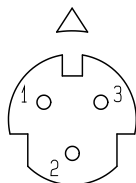
また、基板のスルーホール径加工公差は、 ± 0.02 を推奨します。

TITLE: HR30シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 20 OF 21

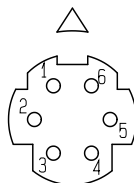
6.2 端子配列

製品名は、末尾のその他の仕様を省略して表示しています。

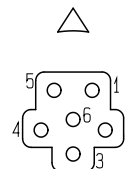
HR30-6R-3P



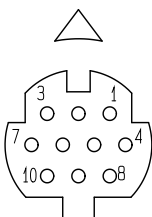
HR30-6R-6P



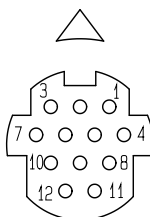
HR30-6R-6S



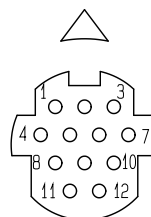
HR30-7R-10PC



HR30-7R-12P
HR30-7R-12PC



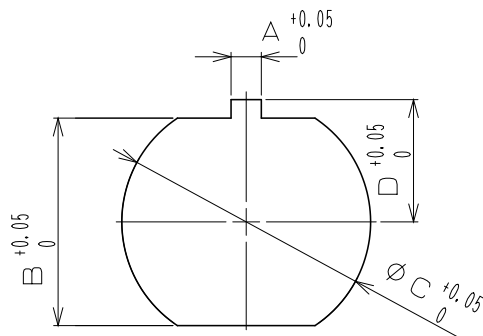
HR30-8R-12S
HR30-8R-12SC



備考 1. 端子配列は、レセプタクルのかん合面から見た状態を示し、プラグは、結線側から見た状態を示します。

備考 2. △印がメインかん合ガイドキーの位置を示します。メインかん合キーは、白色表示がある箇所になります。

6.3 パネル取付け孔寸法図



	A	B	C	D	パネル厚
3,6極	1.25	6.45	8.05	3.95	0.7~2
10,12極	1.35	9.25	11.05	5.45	0.7~3

備考. パネルへの取付けは、パネルの裏側より六角ナットで締付ける方式です。

TITLE: H R 3 0 シリーズガイドライン		REVISION DATE: 04-Jul.-23 Rev No. 0
OBJECT PRODUCT: HR30 SERIES	図番 ATAD-C0516-00	PAGE: 21 OF 21

改定履歴

改版履歴			
Revision	Date	Handled by	Comments
0	2023/07/04	H.ZEMBA	初版